

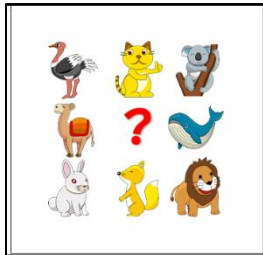
動物当てカード

青森・野呂茂樹

2進法・2分法を用いた動物当てです。動物が描かれた窓を持ったカードを、そのカードに選んだ動物が描かれているときは「はい」を上、そうでないときは「いいえ」を上にして重ねると、窓に選んだ動物が現れます。カードを裏返さず、また、動物の数を8種と少なくして、選ぶときの誤操作を少なくなるようにしました。

【やり方など】

カードA



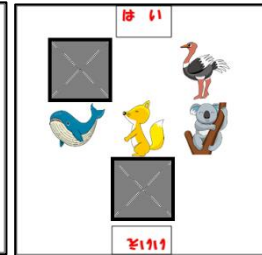
カードB



カードC



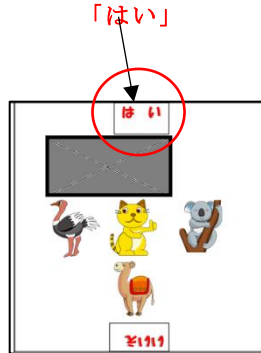
カードD



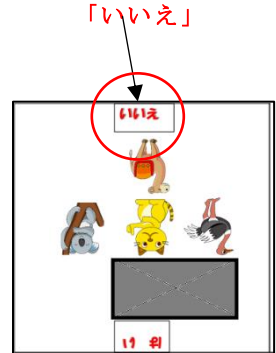
- ①「カードA（カードBと貼り合わせになっている）から1つの動物を選んでください」「そのカードは持ってってください」
- ②カードCを示し「選んだ動物が描かれていますか？」相手が「はい」と答えたら、カードに描かれている「はい」が相手から見ると上になるように、「いいえ」と答えたら「いいえ」が上になるようにカードを置き

ます。

「はい」の場合



「いいえ」の場合

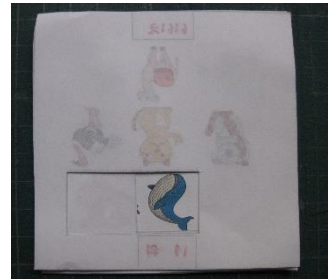


③カードDについても同じように行い、Cの上に重ねます（C、Dを示す順序はどちらが先でもかまいません）。

④カードB（カードAの裏側）を見てもらい、②と同じように操作します。

⑤3枚のカード全体を裏返すと、窓に動物が現れます。

その動物は、相手が選んだ動物です。



*なお、作例のカードに描かれている8種の動物（だちょう、ねこ、こあら、らくだ、くじら、うさぎ、きつね、らいおん）にはある約束のつながりがあります。見つけてください。

*型紙を提供できます。

motozakura@gol.comへ連絡ください。

*動画

https://youtu.be/Kj_dFiZVaDA